

ふるさとづくりのために
環境経済に取り組んでいます！

株式会社メイワパックス(出石町鳥居)

バイオポリエチレンを原料としたライルムの製造

「環境を良くする事業で経済効果が生まれることにより、環境と経済は互いに発展し合う」。このような環境経済型事業に取り組み企業にインタビューします。

《問合せ》環境経済課経済係 ☎23-4480



―会社の概要は？

当社は、医薬品・食品・工業用など、さまざまな包装資材の製造・印刷などを行うメーカーです。

本社は、大阪府柏原市にあり、従業員数は、グループ全体で約1400人です。

平成3年、合併前の出石町の協力で、現在地(出石町鳥居)に工場を建設しました。現在は約250人の従業員が働いており、当社最大の工場



▲バイオポリエチレンを使った製品

です。

―バイオポリエチレンを原料としたフィルムでの製品開発のきっかけは？

この製品の発売は、平成23年の終わり頃です。背景には、社会の環境意識の高まりがありました。当社の顧客から環境に配慮した製品の要請があり、それに応えて開発しました。

―製品の特徴は？

通常、ポリエチレンは、石油だけで作ります。一方、バイオポリエチレンは、サトウキビの搾りかすや廃糖蜜から精製します。その後、袋を製造する段階で、石油由来のポリエチレンと混ぜて製品に仕上げます。

当社以外で製造されているバイオポリエチレンの植物由来成分の配合率は、30パーセント程度です。しかし、当社の製品は、最大59パーセント

まで配合することができ、製品の値段は若干高めですが、環境意識の高い大手健康食品やボディソープなどのメーカーに販売しています。

―環境への効果は？

燃やして処分するときの二酸化炭素の増加を抑え、地球温暖化防止に貢献します。石油で作ったものを燃やすと、大気中の二酸化炭素が増えます。

一方、植物で作ったものを燃やしても、大気中の二酸化炭素の総量は増えません。なぜなら、燃やすときに発生する二酸化炭素は、植物が成長するときに大気中から吸収したもので、差引ゼロになるからです。

―今後の展開は？

徐々にではありますが、発売から着実に売上を伸ばしてきました。

今後とも、環境意識の高い顧客に積極的に提案していきたいと考えています。

※詳細は、問い合わせください。
 さい。 ☎52-13451
<http://tech.navicity.toyooka.jp/company/mpx-group>

事業承継を考える

⑪ 後継者選定・養成の相談について

後継者が決まっている企業と、決まっていない企業とでは、事業承継準備の取組状況に違いがあります。

後継者が決まっている企業のうち、事業承継の準備をしている企業は約7割にのぼります。一方、後継者が決まっていない企業のうち、事業承継の準備をしている企業は1割程度にとどまります。後継者が決まっていない企業は、事業承継の取組みが遅れる傾向にあります。

事業承継を進めるには、「後継者の選定」とともに、「後継者の養成」に取り組む必要があります。経営者は後継者の選定・養成について、誰と相談しているのでしょうか？

相談先の上位三つは、後継者の選定では①税理士・公認会計士②親族③親族以外の役員・従業員です。後継者の養成では①税理士・公認会計士②他社の経営者③親族―となっています。

円滑に事業を引き継ぐには、経営者自身が事業承継の知識

を備えるだけでなく、社内外の関係者や専門家と相談することも重要です。

誰にも相談せず、準備不足のまま、事業承継を迎えれば、後継者は多難な事業運営を迫られます。場合によっては、廃業に追い込まれるかもしれません。

「豊岡市事業承継支援ネットワーク」は、事業承継の相談業務、専門家あつせんへの支援も行っています。まずは、相談してみませんか。

《参考文献》

(株)野村総合研究所「中小企業白書2013」の中小企業の事業承継に関するアンケート調査(2012)

【豊岡市事業承継支援ネットワーク】

後継者問題による廃業を防ぎ、円滑な事業承継を支援することを目的に、平成24年11月に設置しました。
 《問合せ》豊岡市事業承継支援ネットワーク事務局
 (環境経済課内)
 ☎23-4480

公立豊岡病院組合立病院(豊岡・白高・出石)での
人間ドック受診助成希望者募集

■基本料金の一部を助成します(オプションに対する助成はありません)。

▽対象 次の条件を全て満たす市民

・40歳以上(平成27年3月31日現在)

・市の指定する医療機関・日程で受診可能

・職場などで人間ドック助成制度がない

・平成26年度「すこやか市民健診(基本健診)」「個別健診(特定健診)」を受診しない

▽助成対象病院 豊岡病院、日高医療センター、出石医療センター

▽受診期間 4月下旬～平成27年3月

▽申込方法 健康増進課(保健センター)、市民課国保医療係、各支所市民福祉係にある「助成申込書(はがき)」に記入の上、持参または郵送

▽申込期限 3月14日(金)必着

※申込み多数の場合は抽選

※受診日程は、随時お知らせします(希望どおりの日程にならない

場合があります)。

《申込み・問合せ》健康増進課保健医療政策係(〒66810046 立野町12-12) 24-11127

〈助成内容〉

医療機関	種別	定員	基本料金	加入している保険の種類	市助成額	自己負担額
豊岡病院	日帰り	130人	41,650円	国保・後期高齢者	18,000円	23,650円
				その他保険	10,000円	31,650円
日高医療センター	日帰り	250人	37,800円	国保・後期高齢者	18,000円	19,800円
				その他保険	10,000円	27,800円
	1日	110人	46,440円	国保・後期高齢者	22,000円	24,440円
				その他保険	12,000円	34,440円
1泊2日	80人	63,720円	国保・後期高齢者	30,000円	33,720円	
			その他保険	15,000円	48,720円	
出石医療センター	日帰り	50人	43,200円	国保・後期高齢者	18,000円	25,200円
				その他保険	10,000円	33,200円

※各病院のオプション検査の種類・料金は、「人間ドック受診のしおり」をご覧ください。

「生物多様性地域戦略 実践事業」

とよおか「カエルの卵を探そう！」

間もなく春。冬眠していたカエルたちが目を覚まし、卵を産む季節が訪れます。

最初に目を覚ますのは、「ニホンアカガエル」や「ヤマアカガエル」。ほかのカエルが眠っている2月中旬から3月中旬のまだ寒い時期に、山に近い田んぼなどで産卵します。

これまでに行われた調査でも、里山の水辺を中心に、各地でカエルの卵が確認されています。

そこで今回は、調査範囲を広げ、豊岡市全体で一斉調査を試みることにしました。

卵塊(卵の塊)を確認するだけの簡単な調査です。みんなと一緒に、小さな命の息吹を見付けませんか！

みんなで一緒に調べよう！

▽調査日 3月9日(日)午前9時30分～正午

▽場所 コウノトリ文化館(県立コウノトリの郷公園

内、祥雲寺)

▽内容 アカガエルの卵の特徴を学んでから、付近のビオトープなどを調査します。

車での移動が可能な方は、コウノトリ市民研究所が主催する市内各所の調査に加わることもできます。

※詳細は問い合わせ

▽申込み 3月7日(金)までに、コウノトリ共生課に電話で連絡してください。

身近な場所を調べてみよう！

身近な場所を調べてみよう！

▽調査日 3月5日(水)～11日(火)の期間内

▽場所 身近な水田やビオトープなど

※子どもたちが調査する場合は、保護者が同行し、事故のないよう十分に注意してください。

※他人の管理地に入る場合は、必ず許可を得てください。

▽内容 アカガエルの卵を探し、調査票に記入して報告



アカガエルの卵塊は、まるでゼリーのよう。小さなオタマジャクシが見えることも。



※探し方や記入方法などの詳細を調査票に記載しています。

▽その他 調査票は、市ホームページからダウンロードできます(コウノトリ共生課から送付も可)。

《問合せ》コウノトリ共生課

21-9017